

平成 2 7 年度

— 第 9 回 (定例・臨時) —

教育委員会議事録

開 会	平成 2 7 年 9 月 4 日	午前	1 3 時 1 5 分	午後		
閉 会	平成 2 7 年 9 月 4 日	午前	1 4 時 1 5 分	午後		
会 議 場 所	教育委員室					
委員出欠	花山院弘匡	出	佐藤 進	出	森本哲次	出
	藤井宣夫	出	高本恭子	出		
議事録署名	教 育 長					
委 員	教育長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議案及び議事内容	結果
<p>次 第</p> <p>議決事項 1 奈良県公立学校優秀教職員表彰選考委員会委員の選任について</p> <p>議決事項 2 奈良県指定文化財に係る文化財保護審議会への諮問について</p> <p>議決事項 3 教育委員会規則の一部改正について</p> <p>報告事項 1 県立中学校等の平成28年度使用教科用図書の採択について</p> <p>報告事項 2 高等学校の平成28年度使用教科用図書の採択について</p>	<p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>承 認</p> <p>承 認</p>
<p>○吉田教育長「ただ今から、平成27年度第9回定例教育委員会を開催いたします。本日は委員全員出席で委員会は成立しております。」</p>	
<p>○吉田教育長「本日の議決事項 1 は、人事に関する案件、また議決事項 2 は、平成27年度の県指定文化財候補等案件についての諮問であり、秘密会において審議すべきものと考えます。委員のみなさまにお諮りします。いかがでしょうか。」</p> <p style="text-align: center;">※ 各委員一致で可決</p>	<p>可 決</p>
<p>議決事項 3 教育委員会規則の一部改正について</p>	
<p>○尾登文化財保存事務所長「教育委員会規則の一部改正についてご説明します。奈良県教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部を改正する規則です。</p> <p>今般、文化財保存事務所の出張所の設置及び廃止に伴い、所要の改正をするものです。具体的には、奈良県文化財保存事務所、唐招提寺出張所を設置し、それに伴い、當麻奥院出張所を廃止するというものです。</p> <p>文化財保存事務所におきましては、五つの出張所で修復作業等を行っておりますが、當麻奥院での修復作業が9月末で終わり、次の唐招提寺の修復に移るため、新たに出張所を設置します。」</p> <p>○吉田教育長「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」</p> <p>○吉田教育長「ご意見がないようですので、原案どおり議決してよろしいか。」</p> <p style="text-align: center;">※各委員一致で可決</p> <p>○吉田教育長「議決事項 3 については可決いたします。」</p>	
<p>報告事項 1 県立中学校等の平成28年度使用教科用図書の採択について</p>	
<p>○大西学校教育課長「8月21日の定例教育委員会で、県立中学校等における28年度使用教科用図書の採択につきまして、審議を行っていただきました。その際に、社会の公的分野、技術・家庭の技術分野及び家庭分野の、三つの科目についての再調査の指示をいただきました。</p> <p>その調査結果については、先日、委員の皆様へ資料をお送りさせていただき、ご承認いただいたところです。</p>	

議 案 及 び 議 事 内 容

それを受けまして、奈良県教育委員会の権限に属する事務の一部委任と臨時代理に関する規則第4条第2項による教育長の臨時代理で、資料（報告事項第1号）のとおり、県立青翔中学校で使用する教科書について採択されたことをご報告します。」

○吉田教育長「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」

○吉田教育長「ご意見がないようですので、承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長「報告事項1については承認いたします。」

報告事項2 高等学校の平成28年度使用教科用図書の採択について

○大西学校教育課長「県立高等学校の教科書につきましては、奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則第17条により、教育委員会が校長の内申を受けて採択していただくことになっております。

今回、高等学校及び特別支援学校高等部で使用する検定教科書は、全てで794点ですが、それについて各高等学校で選ばれたものが、資料1です。新規で採択替えになったところもございます。

続いて、それぞれの高等学校で、校長先生から内申された教科書とその選定理由について、事務局として審査・検討したところ、適切と考え、教育長の決裁により採択されたことをご報告します。」

○吉田教育長「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」

○吉田教育長「ご意見がないようですので、承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長「報告事項2については承認いたします。」

その他報告事項

○吉田教育長「その他報告事項について、報告願います。」

○大西学校教育課長「平成27年度全国学力・学習状況調査の結果概要についてご説明します。この調査は、平成27年4月21日に悉皆調査として実施され、今回は、例年の国語、算数、数学以外に理科が加わったのが特徴です。

本県の参加状況については、小学校201校、中学校102校、特別支援学校3校です。教科に関する調査結果の概要について、“A”は主に知識に関する問題、“B”は活用に関する問題となっており、昨年度の結果と比べてみると、Aにつきましては、国語、算数、数学は小・中学校共に全国平均を上回りましたが、Bについては昨年度と同程度でした。理科に関する調査では、3年前に（抽出で）行われた結果との比較において、奈良は振るわなかったという結果でした。

順位については、小学校国語Aは23位、国語Bは29位、算数Aは18位、算数Bは23位、理科は31位、中学校国語Aは18位、国語Bは29位、数学Aは12位、数学Bは17位、理科は37位、小学校全体の国語・算数は23位、中学校全体の国語・数学は19位です。

続いて、児童生徒質問紙調査についての結果です。学習に対する関心・意欲等を全国と比較さ

議案及び議事内容

せていただくと、全国平均より低いということでした。特に中学校におきましては、全国平均との乖離が大きくなっています。

規範意識及び自尊意識について、こちらも奈良県の場合はやや低いという結果でした。特に『人の気持ちが分かる人間になりたい』、『人の役に立つ人間になりたい』という質問については、肯定的に答えた児童生徒の数が、少し減少傾向を示しています。改めて詳細を調べ、お示したいと考えています。

続いて学校質問紙調査についてです。教員研修に関して、『校内研修を行っているか』の質問については、奈良県は全国平均を上回っており、校内研修を多く実施されていると考えられます。ただし、実践的な研修や、年間3回以上の授業研究を行うかということについては、小学校・中学校とも全国平均より低く、特に中学校では10ポイント以上低くなっています。

調査結果全体について、今後詳細な分析を行い、課題解決に向けた具体的な取組の提案を行っていきたいと考えています。

次に、平成27年度奈良県学力・学習状況調査の概要についてご報告します。これは今年度からで、4月21日に実施いたしました。小学校4年生と中学校1年生の全生徒に行っております。教科に関する調査結果の概要は、資料(14ページ)のとおりで、基礎と活用の分類で実施しました。傾向は全国とほぼ同じで、基礎の得点に比べて活用が低いという結果が出ています。」

○大西学校教育課長「奈良県高校生議会についてご報告します。今年度は平成27年8月20日木曜日に開催されました。当日午前中に打合せを行い、午後1時から知事、県議会議員と意見交換会が行われました。

参加校は県立5校、私立1校の計6校で、質問項目及び提言テーマ一覧については資料のとおりです。質問の順番は抽選でした。教育長答弁については、資料1枚目の裏面のとおりです。」

○大西学校教育課長「平成28年度県立特別支援学校幼稚部・高等部等入学者募集要項についてご報告します。

応募資格は、学校教育法施行令第22条の3に該当する障害者であって、保護者と共に奈良県内に居住する者としています。盲学校とろう学校には幼稚部を設置しております。募集人員は12月末以降にご報告させていただく予定です。

受付期間は、盲学校を他より長く設定し、受験者の障害に応じて、問題を点字にしたり、拡大したりする作業が必要になってくることに対応することとしています。なお、軽度の知的障害のある生徒を対象とする、高等養護学校と奈良東養護学校の高等養護部については、選考日程が異なります。

昨年度から大きく変更になった部分はありません。」

○西上生徒指導支援室長「奈良県高等学校生徒会連絡会災害ボランティア活動についてご報告します。

県内全ての国公私立の高等学校の代表生徒からなる、奈良県高等学校生徒会連絡会では、平成23年度の設立以来、県内の高校生に呼びかけて、毎年災害ボランティア活動に取り組んでいます。

今年度は8月22日に県内の9校から20名の高校生が参加し、昨年8月の豪雨で被害のありました兵庫県丹波市市島町でボランティア活動を行いました。当日は、地元の市島中学校の中学生、また大阪大学、神戸大学の学生ボランティアとともに、ダム湖のある自然公園で流木の撤去作業を、午後からは、地域の住民の方、中学生や大学生とともに交流活動を行いました。

神戸新聞にアップされた情報を資料に添付しています。現在、参加生徒に感想等を書いてもらっており、1月に開催する生徒会連絡会の全体会で、県内の全ての学校に報告したいと思っています。」

○沼田保健体育課長「平成27年度全国高等学校総合体育大会についてご報告します。

和歌山県を幹事県として、近畿2府4県でブロック開催されました。7月28日火曜日に和歌山県で総合開会式が行われ、県内では、7月28日火曜日から8月12日水曜日の16日間にわたり、六つの競技種目が行われました。

議 案 及 び 議 事 内 容

大会は、県内外の役員及び会場市町村のボランティアのご協力、また大会補助員をはじめとする高校生の活躍により運営され、予定どおりの日程で終わることができました。教育委員の皆様におかれましては、猛暑の中、各会場で激励をいただき、ありがとうございました。今後は、この大会を契機にして、運動部活動の更なる充実、推進に努めたいと考えています。」

○吉田教育長「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」

○花山院委員「全国学力・学習状況調査において、理科が他と比べて低いのは何故でしょうか。また生徒質問紙調査において、全体的には平成24年度実施より改善されている内容が多いとはいえ、中学生の規範意識及び自尊意識で『自分によいところがある』、『将来の夢や目標をもっている』が全国と比べて低くなるのは何故でしょうか。」

○大西学校教育課長「理科の順位が低いことについての理由について、今回の調査には活用的な質問が多く含まれていました。例えば知識として実験結果を問うのではなく、そのためにどのような実験をするかなど、その部分の回答が弱かったと考えられます。このことから、授業の中の実験や、実際にプロセスの部分を大切にするといった取組が弱いことが現時点では考えられません。」

質問紙調査の『理科の授業で、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか』の質問で『週1回以上実験・観察を行っているか』ということについては、全国と大きな差があり、小学校が全国平均45.8%に比べて、奈良県は25.7%、およそ半分で、順位は47位です。また中学校の全国平均は39.2%で、奈良県は14.4%。順位は45位となっています。」

○吉田教育長「現場では、中学校は教科指導より生徒指導が大変で、やはり教科指導にも目を向けないといけないと思っています。実験したり、教科に関心をもたせるように指導力を高めていくことが疎かになっていると思います。」

過去3カ年の中学校の学習指導研究会の授業の中身が、実際どのような公開授業がなされているか、実験観察中心になっているのか、あるいはそれがなされているが広がりが少ないとか、それすらなされていないとか調べてください。また教員の、理科の持ち時間など、トータル的に調べてください。」

○森本委員「学力意欲や生活習慣が良くなっています。その一方で、規範意識と地域との関わり、教員研修が、前回調査より下がっています。」

今後分析もしていただくとと思いますが、前回より低くなっているのはどうなのかと思います。そのような視点も含めて、分析をお願いします。」

○森本委員「災害ボランティア活動について、参加者については、それぞれ生徒が希望されることなのですが、昨年度と比べてその傾向はいかがでしょうか。」

○西上生徒指導支援室長「生徒会連絡会として、各校内で呼びかけをいたしました。人数的には昨年度と同様20名台でした。活動現場のキャパシティのほか、そこまでの道路事情と移動手段となるバスの大きさの関係による制約もあります。」

○森本委員「交通の便がいいところは、高校生が多く参加していて、地域でも若い方がきてボランティアいただいて喜んでもらえる姿を見えています。ボランティアの心を養成するような指導を引き続き行っていただきたいと思います。」

○吉田教育長「他にご意見がないようですので、承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長「その他報告事項については承認いたします。」

議 案 及 び 議 事 内 容

○吉田教育長「それではこれもちまして、本日の委員会を終了します。」